

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|------------------------------------|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 7 | 虐待防止のための勉強会やスタッフの研修参加が進んでいない。 | スタッフが、虐待の内容や「高齢者虐待防止関連法」を研修などで理解すると共に、拘束や虐待に準ずる行為の防止についても検討し、理解を深める。 | 社協などが主催する研修会への参加のみならず、社内で会議などの際に「社内勉強会」も行う。 | 3ヶ月 |
| 2 | 26 | 入居者個々の「アセスメントシート(個人データ)」が統一できていない。 | 入居者全員が統一した「アセスメントシート」又は「個人データ表」を用いる事が出来、介護計画作成や緊急時の持ち出し資料として十分に活用できる。 | 現在ある様々な形式のものを見直し、新しい形式のものを作る。又、今後新しく入所される方については、原則として事前に紹介者(ケアマネ等)やご家族の方に、こちらから「アセスメントシート」をお渡しし、ご記入して頂く。 | 6ヶ月 |
| 3 | 49 | 業務上の諸事情により、最近、入居者の外出支援が思う様に出来ていない。 | 近隣の散歩、遠方への外出レク共に入居者の方に満足して頂く。特に「季節感を味わえるもの(お花見など)」を出来るだけ企画し、実施する。 | 外出レクなど大掛かりなものは、実施当日のシフトを今まで以上に工夫し、人員を確保する。近隣の散歩については、何種類かパターンを作り、状況に応じて行いやすいものを行う。 | 6ヶ月 |
| 4 | 20 | 入居者が入所される前に交流のあった方々と会う機会がなくなっている。 | 入居者のご家族のみならず(身寄りの無い方もあるので)、知り合いの方も気軽に訪問できる雰囲気を作る。 | 入居者本人の生活歴やご家族、関係者からのお話を基に情報収集を行う。「グループホーム連絡会」からも他のホームの情報を得て、取り組む。 | 3ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。